



真剣に学ぶ子 心の美しい子 健康でたくましい子

Let's fly tomorrow



衣丘小だより 22号 令和7年11月14日

まだ間に合います。保護者アンケートのご協力をよろしくお願いします。(11/14まで)

★4年図画工作科の授業から～咲かせよう！まぼろしの100本の花畑～★

4年生は、図画工作科の授業を通して、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を想像しようとする児童を育てています。そのために、教科書の題材「まぼろしの花」を核にして、つけさせたい力を明確にした指導計画を作って授業を進めています。



①意欲が高まる導入の工夫として、教師が語る物語から始まります。②自ら動き出す追究活動の手だての一つとして、「材料お試しコーナー」を設置して試行錯誤しながら取り組めるようにしています。③みんなで解決を図る磨き合いの場では、友達同士で意見交換する場を設けて、考えを深めたり意欲を高めたりしています。④実りを感じる学びとして、図工日記（振り返りカード）を使って次時への見通しをもたせています。完成した作品は1月の「みのり作品展」で体育館に展示しますのでぜひご覧ください。

みなさん、目を閉じてください。

ある日、目が覚めると、あなたは自分の部屋ではなく、不思議な場所に立っていました。そこには誰も見たことのないふしぎな「まぼろしの花」が、咲いていました。あなたは、その花のにおいをかぎました。花びらをさわりました。そして、その花の種を一つだけ取りました。

— 中略 —

あなたの手の中には、あのまぼろしの花の種が握られていたのです。

さあ、目を開けてください。どんな花を想像しましたか？



【まぼろしの花が咲く不思議な種】



【材料お試しコーナー】

＜校長のひとりごと＞

私はどちらかと言うと、図工は苦手でした。物を見て写したり見本を真似したりすることはできましたが、想像を膨らませて描いたり製作したりすることは、できればやりたくないと思っていました。理由は失敗への不安や発想の乏しさがあったからです。4年生の授業を継続的に見ながら、友達と自然な関わり合いを大切にし、協働的な学びの場があれば苦手をクリアできそうだと思います。

【上：始まりはオリジナル物語から】

【下：友達からもらった意見をもとに自分の作品を見直しながら…】



★道慈小学校との交流会～あたたかいおもてなしを～★

11月13日（木）に平成24年から続いている道慈小学校との交流会を行いました。今年は道慈小1年～4年の31名と先生方が来校しました。私は衣丘小学校の子どもたちでなければできないことで交流を深めたいと考え、予定にはありませんでしたが、当日の朝6年生にお願いして運動会で披露したフラッグ（90人バージョン）の演技を体育館で道慈小学校の皆さんに見てもらいました。急な依頼に対して6年生が快く引き受けてくれたことを嬉しく思いました。感謝です。